
と或る、どらごんの日々

花井

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

と或る、どらごんの日々

【Nコード】

N5331P

【作者名】

花井

【あらすじ】

人だった前世の記憶を持つドラゴンのお話。基本、ほのぼので一人語り？

どらごんの弦き（前書き）

文法は気にしない方向性をお願いします（、□、。）

どらごんの眩き

世界は一つじゃなくて、沢山あるんだなあ　なんて事をこの頃良く実感します。

目の前に広がるのは何処までも果てしなく続く青々と茂る草原と蒼天の蒼、
そしてその蒼に浮かぶ真白な雲と浮遊する島々。

ええ、この描写で何となく察して頂けるのではないかな？と、思いマス　はい。

いや、別に見事異世界トリップを果たしましたーっ！！なんてワケでもないんです。
異世界には、違いがないのですけどねー。

あ、はじめまして！　私（わたくし）、桐生　ささと申します。年齢は22歳。

一応、主張？しておきますね　もと人間でした。

「もと」って、事は今は違うのかと言われれば　答えは「是」です。

私（わたし）の今の名前は　サリユレイディサテア・ゼイフェルド・フォルデイルーレ　と言います。

改めて、言うとう長いですねー・・・ちょっと目が遠くなってしまいましたが、其処は置いておき。年は3歳デス！　まあ、大体の数え年ですが。

そして、私は・・・なんと、ドラゴンです　ぴぎゃー！。

そうそう、あの幻想動物です。中国の龍じゃなくて西洋の竜みたい

なのです。

は？どいうこと？と、思われる方も極稀ですがいらっしやると
思 い こ ん で 、 不肖この私（わたくし）サリュレイディ
サテアー略、ササがご説明させて頂きたいと思います。

まあ、さっくりいきましよう！グダグダ喋っても眠くなってしまう
ので！

（え、誰が？って？ 私 が ですよ）

では、昔話のはじまりハジマリ。

昔々・・・と、言う程昔ではありませんが、

桐生ささと言う人間が別の次元に存在する銀河系の惑星 地球 と
言う星の島国である

日本と言う所に住んでおりました。

桐生ささはその時代に良くいるような人間で、

平和な時代に些細な出来事は山とあれど平和に暮らしていました。

平凡ではありましたが、その平凡を愛し幸せと享受して生きていた

桐生ささは

22歳で交通機関の脱線事故にあい、あっけなく死亡してしまいま
した。

そして、気付けばその 地球 とは異なる世界に生れ落ちていまし
た。

前世という、桐生ささの記憶を持ったまま。

で、現在に至る。 と、言うワケなのです。

私（わたし）の生れ落ちた世界は、名は存在しませんが色々な次元の世界と繋がる次元にあります。

世界の環境については、地球と然程変わらないようにも思えますが、身体自体が地球の時のとは違ってしまっているので、信憑性にはかけてしまいます。

ただ似ているのだな、ぐらいで認識して頂けたら幸いです。

そんな世界ですが、微々たる違いを上げればキリがありませんので割愛し、

大きな違いを上げさせて頂きたいと思います。

この世界に純粋な人間はいません。

と、言うか人間は住んでいませんの方が正しいのかな？

この世界に住むのは、

地球では幻獣や聖獣、神獣と呼ばれている種族が生きる世界なのです！

ささの時はネット上のファンタジー小説を読み漁る程、ファンタジーが好きでしたが、

まさか、自分がその類に生まれ落ちるとは思いませんでした。まあ、誰得と言えば 俺得！！ なんですけども。

これでも、生れ落ちた瞬間は人である「ささ」の意識がこの状況を受け入れられなくて

この世界の「ササ」の家族には、とても心配をかけてしまいました。

本当にごめんなさい。

夜泣きで世界を揺さぶって、この世界に住む皆様ごめんなさい（平伏）。

「ささ」の家族を思うと、手放しではこの世界に生れ落ちた事を喜べませんが

それでも、「ささ」の家族の幸せを祈って「ササ」としてこの世界で生きていきたいと思っています。

沢山、ある世界の何処かにいる「ささ」の家族へ

「ささ」は今日も大好きな人達の幸せを祈ります　そして「ササ」は元気です。

どらごんの眩き（後書き）

チビどらごん ササ の一人称です。

続きは確実書く気がするので、連載で登録しました。
更新は相も変わらず、不定期です。

どらごんの世界

はい、お久しぶりです！

桐生ささ もとい サリユレイディサテア・ゼイフェルド・フォルディルレーです！

え？久しぶりじゃない、と？ ま、まあそういう事にしておいて下さい。

そして、相も変わらず舌を噛みそうな名前で申し訳ありません、噛まない為にも気軽に「ササ」と呼び下さいませ。

今日は、私が住むこの世界をご紹介したいと思います！

以前にもちょこつと、説明にもならない説明をさせていただいたのですが、

詳しく説明できる事はしていきたいと思います！ どうぞ、よろしくお願い致します。

先ずは、この世界に 名 はありません。

まあ、言うなれば 地球 のある世界にも名前はありませんかでしょう？

それと、同じ感覚です。

ただ、住人もとい住んでいるモノ達は

本能としてこの世界以外の世界が在る事を知っています。

そこは、前の世界の住人とは違いますよねえ。

で、この世界は色んな世界と通じている世界です。これも本能で皆知っています。

住んでいるモノ達は、以前お話させて頂いたように他の世界では

幻獣や聖獣、神獣と呼ばれる種族です。

えと、ですねー・・・まずは、私の種族であるドラゴンに始まりまして、

ユニコーン、フェンリル、麒麟、鳳凰、セイレーン、ケンタウロス
など

後は精霊さんや妖精さん達がいらっしやいます。

多分、まだまだ私の知らない種族の方々がいらっしやいます。

ドラゴンや精霊、妖精他に置いては、

種族内で属性が異なつて来ますので種族内で枝分かれします。

民族的なものだと考えて頂ければ、良いと思います。

話にもあがつた様に、

種族に属性がありますし世界を構成している全てに属性が存在します。

ただ、属性が多いのでここでは割愛させていただきます。

上げだしたらキリがない上に、私の知らない属性もありますので。

基本的な属性はそこまで違わないので、問題ないと思うんですよ。

まあ、考え方は中国思想に近いですかねえ・・・属性に善悪はなく、
其々が己の属性を持って互いに偏り過ぎない、バランスをとるよう
になっています。

光が在るから闇が在り、空が在るから海が在るそんな感じです。

種族によつては、複数の属性を持つモノもあります。

ドラゴンの光竜種と闇竜種はその最たる例に当たります。

光竜種は基本属性でいう光、火、地、空間を属性として持ちます。
後は派生属性も一通り扱えます。

闇竜種は基本属性で闇、水、風、時間の属性を持ちます。

光竜種と同じく派生を扱えます。

ドラゴンは基本属性を従わせる能力を生まれた時から保有している為、

一応この世界の生態系ピラミッドの頂点に君臨しています。

頂点はその生態維持上、数は多くありませんので基本顔見知りです。

世界の見た目的には地球に似ているのではないかなと思います。

似てない部分も多く在りますが、空は蒼く海は碧いですし、

草木は緑と茶色で大地は茶系です。

空には、島が浮いていたりしますが某ジ○リのあの城な感じです。

ただ、数は多いですが。

後はですねー、基本この世界のモノは力を持っていますので

高位種族になりますと、幼体の時期を過ぎてからは人型で過ごします。

何分、特にドラゴンはでっかいので小さい種族に迷惑なんだそうです。

私はまだ3歳ですので人型には為れませんので、

ちびっ子ドラゴンの姿で過ごしております　ぴぎゃー。

こちらのパパさんママさんは言うまでもなく、

二人の兄と一人の姉も幼体の時期を過ぎていきますので人型です。

そして、もの凄い美形です。

彼らを認識した瞬間、開いた口が塞がらなくなるかと思いました。

人型をとった時に自分がどうなるのか、ちょっとおっかなびっくりです。

何分、前世は平々凡々の日本人容姿でございましたので（けぶん）。

そして、色々な世界に繋がっている為、成体になったモノは「喚ばれる」事があります。

喚ばれるとは何かと言いますと「召喚」されるんですよ！

まあ、高位のモノになると呼び出しを蹴ったりもできるらしいです。

凄いですねー。

相性が合わないと呼び出しのベルすら押せないそうです。

なんというか、何処の花魁なのでしょうとか思っていますかね？

パパさんもママさんも

昔は異界の方と契約してこの世界から離れていた事もあるんだそうです。

今は幼体の私もいるので、契約はしていないそうですが。

私もいつか「喚んで」くれる方がいらっしやるんでしょうかねえ。

なんて事を思いながら、今日もササは元気です。

どらごんの世界（後書き）

ササから見た世界の話でした。

と或る、どらごんの日々 略 と或どら 読んで下さってありがとうございます御座います！

略が何かを彷彿とさせますが、置いておいていただけると嬉しいで
す。

どらごんの家族 その1

今日は私の家族についてお話したいと思います！

私（わたくし）ササは種族で言いますとドラゴンになります。
当然、家族もドラゴンです。

ただ、私の家族はドラゴンはドラゴンですが、ちょっと特殊なのです。
何が特殊なのかは、お話していく間にわかっていただけたらと思うので、
そのまま進めますねー。

先ずは、パパさん！ 私はお呼びする時は、父様（ととさま）と呼んでいます。

まあ、音はぴぎゃーとかしか出ませんがね、普通に意思疎通可能なので。

気にしない方向性で。

名前は ゼイフェルド・ベーツリルド・ナレイディーカ と言います。

ドラゴンの中でもチート的な光竜種です。

まあ、父様はその光竜種の中でもチートらしいですが、其処は割愛で。

竜の時は、少し黄色みがかった白所謂白金の鱗に空の蒼の瞳を持つ雄雄しい姿です。

カッコイイです、そしてかなりの巨体です。

竜の姿の父様が着地を荒くすると震度5位になります。

基本的に、光竜種は白に近い鱗と青い瞳が特徴的なのだとか。個体差が微妙にあるそうです。

人型の時は、金色の緩い天然パーマの髪に瞳は変わらずの蒼です。肌の色は西洋人の肌の色ですね。

容姿はすつと通る鼻梁に切れ長の目、睫毛もしばしで唇はちよつと薄めそんなパーツを

凄く神さまが頑張つて綺麗に並べた感じですよ。所謂美形ですよ、そして美丈夫な感じですよ。

表情がないととても冷たい感じに取れますが、

ママさんや私達にはいつもふんわり微笑んでくれているので、怖くなんてありません！

まあ、見方によれば微妙にたまーに鬼畜っぽく見えるのは内緒ですよ。多分、眼鏡とかかけても似合いそうです。

そして、ママさんにぞっこん（言い方、古いですかね？）ですよ。ついでに、嫉妬深いです。

メロメロというか、デレデレというか、むしろデロデロ？

・・・むむー語感が宜しくないですね。

まあ、夫婦仲はとっても良好ですよ！

なんていうか、ご馳走様ですよという感じです。 けっぷー。

ママさんが絡まなければ、優しくて時にちゃんと叱ってくれて危ない時には必ず助けてくれるとても素敵な人格者ならぬ、竜格者なのです。

ママさんが絡むととてもつもなく危険竜物になるので、

この世界の大半の方々はママさんに優しいですよ。 触らぬ神に祟り無しですよ！

では、続きましてはママさんとい母様（ははさま）をご紹介します。

名前は フォルディル・ヴァルジアド・メーディルア と言います。

種族は闇竜種です。こっちもチートと言えば確実チートな種族です。

ここで、お分かりかと思いますが父様母様の婚姻は同属間でないので特殊なのです。

母様が竜の時は黒銀の艶やかな鱗に真紅の瞳のしなやかなお姿です。とっても優美です！ 大きさは父様程ではないにしろやっぱり巨体です、竜ですしね。

基本的に、闇竜種は黒に近い鱗と赤い瞳が特徴的なのだそう、此方も個体差があるそうです。

人型の時は、艶々とした真っ直ぐな漆黒の髪に瞳は変わらない真紅です。

肌の色は、白磁と例えられそうな程白いのですが、病的な印象は然程ありません。

容姿は職人の神様が丹精込めて作り上げたんだろぅなあとと思われる感じですね。

緩く美しく描かれる輪郭や肢体の曲線も、小ぶりなのに高い鼻も、ビューラー要らずの睫毛も、最高最上の宝石を嵌め込んだかのような大きな瞳も

ぽってりと桜桃の様に艶やかな唇も、とても美しいのです！
流麗と可憐を掛け合わせた感じです。

母様がいらつしやると、どこでも常春になるような雰囲気をお持ちです。

ただし、笑顔で父様や他の方を圧倒される事もあるので 母様強し！いつも微笑んでらつしやる方なので天然と思われがちですが、いや確かに天然でもあるかと。

凜とした芯の強さのある、良妻賢母だと私は思っています！たまに笑顔が怖いのは秘密です。 お口チャック！

母様も父様が大好きなようです、まあ父様の方が人目というか他の方の目を憚りませんが。

結局は万年ばっばーとかいうヤツです、はい。見てるこつちの方が照れちゃいます、きやつ。

母様は穏やかで優しく暖かく包んでくれます、駄目な事は駄目ってちゃんと教えてくれます。

他の種族の方と接する時に大事な事、思いやり、真心、気遣いそんな色んな事を教えてくれます。

そんなササの大好きなお二人を紹介させていただきました！お付き合ひありがとうございますー びぎゃー！

今度は、兄弟（きょうだい）を紹介しますね。またその日まで！

今日も今日とてササは元気です。

どらごんの家族 その2

はじめましての方もそうでない方も 今日もまた、どうぞ宜しくお
願い致します！

相も変わらず、ササがお話していききたいと思います。

本日は、私の兄達と姉を紹介させていただきますねー。

先ずは、一番上の兄から！私はオル兄様（にいさま）と呼んでいま
す。

名前を オルグランド・ゼイフェルド・フォルディルレー と言
います。

種族は母様と同じ闇竜種です。

竜の時は黒銀に少しだけ紫がかった鱗に真紅よりも深い紅の瞳、
大きさは母様より少し小さいぐらいのサイズです。

人型の時は緩くウェーブのかかった烏の濡羽色の黒髪に、

竜の時と変わらない目の色です。

お顔立ちの印象は父様に似ていらつしゃいますが、雰囲気は母様に
似てらつしゃいます。

丹精と言った方が似合いそうな方です！

性格は穏やかでそうそう怒る方ではありませんね、私は見た事ない
です。

今は契約されてる方がいらつしゃる様なので、

その方のいる世界とこの世界を行ったりきたりされています。

次は、アーナ姉様（ねえさま）のご紹介です！

名前は キルライディアーナ・ゼイフェルド・フォルディルレー
と言います。

種族は光竜種なのです。

竜の時は、父様の鱗より少し黄色味の強い白金の鱗に蒼より少し薄いセルリアンブルーの瞳です。

人型の時は黄金色のストレートの髪に、瞳は竜の時と同じです。

お顔立ちも雰囲気も父様を女性にしたようなと言われているご容姿をされています。

類稀なる麗しいお方です！超絶的な美少女です。

将来はものすごい美女になれそうです。

正確は勝気というか、多少気位の高いような気もしますが、

私にはとてもお優しい姉様です。

姉様も現在契約されている方がいらっしゃる様なので、

行ったりきたりされてます。兄様と同じ世界なんだそうですよ！

そして、次は二番目のウエン兄様です！

名前は コールウエンド・ゼイフェルド・フォルデイルーレ と言います。

ウエン兄様も光竜種になります。

竜の時は白に少し青みかかった白金の鱗に、深い蒼の瞳をされています。

人型では父様やオル兄様と同じ緩いウェーブの淡い金の髪に深い蒼の瞳です。

顔立ちは母様にですね、でも雰囲気は父様な感じです。

見た目は玲瓏と言って遜色ないかと思われます。

性格は朗らかで屈託のない方なのです。

後、弄られやすいのか良く姉様に弄られています。

そして、一番ささをおかけに連れ出して下さる方です。

まだ、契約をされらっしゃらないのでささに一番構って下さいます。

最後に、私（わたくし）ササの自己紹介させていただきますね！

え、もう知ってるし、いらない？ う、ううーそう言わずに聞くだけお願いします！

ええと、名前は サリュレイディサテア・ゼイフェルド・フォル
デイルーレ です。

この一家の末になります！ 種族は 混合種 です！ え？ 兄弟様
達と違う？

竜種はもともと住み分け上、あまり他の属性の方とご一緒にならな
いんですね。

で、別属性間の婚姻の場合生まれてくる子供は大半どちらかの属性
に偏ります。

ただ、たまーにホンの何千何万分の1の確率で
どちらの属性も持つ子供が生まれるそうです。

それが 混合種 です。ただその一代限りの種なのでそうそう出会
えません。

一応、レアなんですよ！ 多分。 自分で言うって微妙ですね、あう
う。

まあ、私が混合種なのも特殊の一つです。

混合種なので、鱗の色は銀をちょっと鈍くして少し青みを加えた様
な色ですし

瞳は淡い紅、所謂薔薇色なのです。

・・・光竜種の象徴と闇竜種の象徴をまぜっこした感じで、不恰好
なのです。（しょぼん）

人型にはまだ、なれないのでどんな姿になるかはわかりません。

ええと、はらっぱでお昼ねするのと

父様や母様、兄弟様達と一緒にいるのが大好きです！

まだ、3歳ですので契約できませんし力のコントロールもききませ
ん。

所謂、役立たずですが家族が愛してくれてるのは分かるので、日々
精進です！

力の扱いかたも、今度父様や母様、ウェン兄様に教えてもらおうで
す。

後は、父様や母様、兄妹様方のお名前で

何となくわかっていただけのかなあと思うのですが、

竜族は基本的に、男性の名前には「ド」の音を、女性の名前には「デイ」の音を入れます！

そして、竜族の名前の意味なのですが「個体の名・父親の名・母親の名」となります！

名前を言えば、どの親の子っていうのが丸分かり仕様です。

私ですと、父はゼイフェルド 母はフォルディルレ 名前に「デイ」がつかますので

その娘のサリユレイデイサテアとなるわけです。

まあ、現在の竜族での混合種も私だけなので明らかですけどね。

はい、兄妹様方の紹介と余談でした！

長々とお付き合い下さいましてありがとうございます！

今日も明日も明後日も、ササは元気に頑張ります！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5331p/>

と或る、どらごんの日々

2010年12月25日12時04分発行